

滋賀県庁 県有資産活用のひろば パートナーとのヒアリング結果概要

担当課	土木交通部流域政策局河川・港湾室
案件名	大津港公共港湾施設の活性化検討について
ヒアリング実施日	令和6年3月13日
参加パートナー数	2者
ヒアリングの目的	大津港全体のポテンシャルや、にぎわい創出に向けて既存施設のより有効な活用方法、利用手法がないか。
結 果 概 要	
事業方式・期間に関する提案	<ul style="list-style-type: none"> ・収益施設は、場合によってPark-PFI等でも可能性がある」と意見がありました。
活用（利用）策について	<ul style="list-style-type: none"> ・ターゲットとする層をどこに設定するかが重要。 ・人を集めるための起爆剤となるコンテンツが必要。（シンボリックな建物、遊具、恒常的なにぎわいなど）既存施設だけでは、幅広い層を取り込むことは困難である。 ・水辺に近いので水泳場やバーベキュー場は期待されると考えられる。 ・また並行して効果的な情報発信をすることが必要。
土地の需要について	<ul style="list-style-type: none"> ・現地に来てみれば、湖面も近いためロケーションもよく、活用方法はある。 ・周辺にマンションが多いことから、ファミリー層の需要があると考えられるし、一方で観光客を集客できる可能性もある。 ・京阪からは近いが、JRからは距離を感じる。
その他提案	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度においては、物価高騰などを反映した管理料の設定が必要と意見がありました。 ・にぎわい創出を業務に掲げる場合は、企画等に要する必要な予算措置をしてほしいと意見がありました。 ・現状をどれだけ改修してよいかは、行政側から十分に条件を提示してほしいと意見がありました。